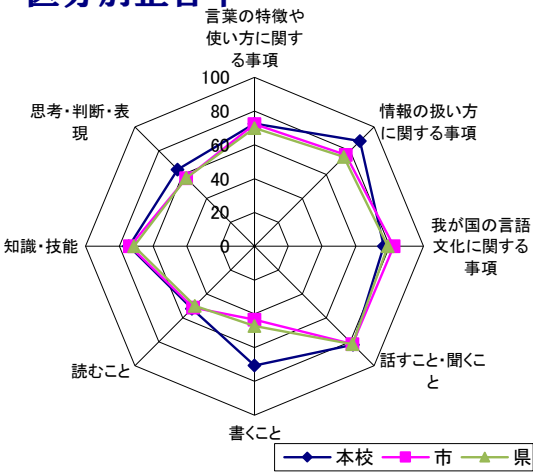


宇都宮市立清原北小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	72.6	72.3	70.0
	情報の扱い方にに関する事項	88.2	76.4	74.9
	我が国の言語文化に関する事項	76.5	82.4	78.9
	話すこと・聞くこと	82.4	81.9	82.0
	書くこと	70.6	43.5	47.2
観点	読むこと	52.2	51.4	49.8
	知識・技能	74.3	73.6	71.3
	思考・判断・表現	64.3	57.1	57.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。 ○漢字の書きや連体修飾語の正答率は市の平均より高い。 ●漢字の読みや連用問題の正答率は市の平均より低い。	・新出漢字を学ぶ際、漢字のもつ意味について話題にしたり、既習の漢字を使った熟語を作らせたりと工夫して指導し、定着を図る。また、送り仮名も含めて漢字練習等で練習させる。 ・修飾語の学習や読み取り問題において、文構造について考えさせる時間をもつ。
情報の扱い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○漢字辞典の使い方の問題の正答率は市の平均より11.8ポイント高い。	・漢字辞典を手元に置き、すぐに調べられるようにしたり、付箋を貼って、調べることに意欲付けを図ったりする。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均より低い。 ●ことわざの意味を知り、正しく使う問題については、市の平均より5.9ポイント低い。	・朝の学習等の時間に多様なことわざにふれ、使い方を知ったり、日常生活の中で活用したりすることにより、言葉への関心を高めていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均よりやや高い。 ○互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる問題の正答率は、88.2%と市の平均より17.5ポイント高かった。 ●相手が話した内容を正しく聞き取る問題は、76.5%と市の平均より12.6ポイント低かった。	・話し合い活動の中で出てきた考えの共通点や相違点に着目するだけでなく、相手の意見がなぜ違うのかという理由を最後まで聞き、相手の意見との違いを理由をつけて説明できるような場面を設定する。また、答えを二つ選ぶ設問に対して、一つしか選んでいない児童も見られるため、設問を最後までしっかりと聞くことができるようにする。
書くこと	平均正答率は、市の平均より高い。 ○内容の中心を明確にし、事実を伝える文章や自分の考えを書く問題は、どちらも市の平均より33ポイント高く、指定された文字数は22.4ポイント、段落で書く問題は18.1ポイント市の平均よりも高い。	・字数や段落の構成を設定し、条件に合った文章を書く活動を多く取り入れることにより、書く力を身に付けさせる。また、一人一台端末を活用してプレゼン制作など、自分の考えを書く活動に数多く取り組ませる。
読むこと	平均正答率は、市・県の平均とほぼ同じである。 ○説明文の段落の相互関係を捉える問題は、市の平均より19ポイント高い。 ●物語文を読んで感じたことを共有する問題については、県の平均より4.7ポイント低い。	・物語文の登場人物の気持ちの変化を表す言葉や行動に線を引きながら読むなど工夫して内容を捉える活動を充実させる。また、読み取った内容について、考えを共有し、議論する時間を設ける。